



F☆☆☆☆

シントーHOMEシステムMF工法

弱溶剤形サイディングボード改修システム
(高耐候性ふっ素樹脂塗装仕上げ)



窯業系サイディングボード 専用塗替システムだから安心



特長

- 1 窯業系サイディングボード専用塗替システム**
窯業系サイディングボードのために開発した専用システムなので外壁の塗替にぴったり
- 2 高耐久**
外壁まるごとふっ素コーティングで、安心の高耐久
- 3 美しい仕上がり**
緻密な塗膜形成技術によるみずみずしく鮮やかな仕上がり、低汚染化&防カビ・防藻技術のコラボレーション
- 4 工程短縮**
通常だと3工程のところ、2工程に削減可能。施工時のオーナー様の不自由さの軽減と廃棄物の削減を実現



用途

戸建て住宅、集合住宅、事務所等の窯業系サイディングボードの塗替え用

商品構成

商品名	容量			艶	色相	備考
	セット	主剤	硬化剤			
HOMEプライマー	15kg	13.5kg	1.5kg	-	オフホワイト	2液弱溶剤形サイディングボード改修用プライマー
MF-HOMEトップ	16kg	12.8kg	3.2kg	艶有 艶消	白・淡彩 中彩・濃彩	2液弱溶剤形サイディングボード改修用ふっ素樹脂塗料
	4kg	3.2kg	0.8kg			

使用可能時間

商品名	10℃	20℃	30℃
HOMEプライマー	7時間	7時間	5時間
MF-HOMEトップ	8時間	5時間	4時間

下塗 2液弱溶剤形サイディングボード改修用プライマー
HOMEプライマー3大特長

- 特長1 高隠ぺい性**
隠ぺい性とエッジカバー性に優れ、省工程化が可能
- 特長2 幅広い下地適性**
様々なサイディングボードへの付着性に優れます
- 特長3 浸透・含浸性**
浸透性が高く、下地への含浸による補強が可能



上塗 2液弱溶剤形サイディングボード改修用ふっ素樹脂塗料
MF-HOMEトップ7大特長

- 特長1 高耐候性**
耐候性に優れた最高グレードのふっ素樹脂とラジカル制御技術の組み合わせ
- 特長2 高光沢**
みずみずしく鮮やかな仕上がり
- 特長3 高隠ぺい性※**
隠ぺい性とエッジカバー性に優れ、省工程化が可能に
- 特長4 伸縮性**
シーリング材と相性の良い伸縮性
- 特長5 防水性**
伸縮性のある塗膜で防水性に優れる
- 特長6 耐汚染性**
独自の技術により低汚染化を実現
- 特長7 防藻・防カビ性**
独自の塗膜形成技術による抑制効果と専用薬剤の効果

*下地の色相、形状及び上塗りの色相によっては塗り増しが必要になる場合もあります。



■ 塗装仕様（サイディングボード面の改修）

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量*1 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
素地調整	・サイディングボードのひび割れなどは適切な処理を行う ・既存塗膜の脆弱部分を完全に除去する ・高圧水洗にて、ほこり、汚れ、チョーキング層の除去を行い、よく乾燥させる					
下塗り	HOMEプライマー (塗料用シンナーA)	3~15	0.13~0.17	1	16時間~7日	ローラー はけ
上塗り	MF-HOMETOP (塗料用シンナーA)	2~7	0.15~0.20	1*2	-	ローラー はけ
	MF-HOMETOP艶消 (塗料用シンナーA)	2~7	0.15~0.20	1*2	-	ローラー はけ

●サイディングボード面以外の改修にも対応できますので、塗装仕様については弊社までご相談ください。

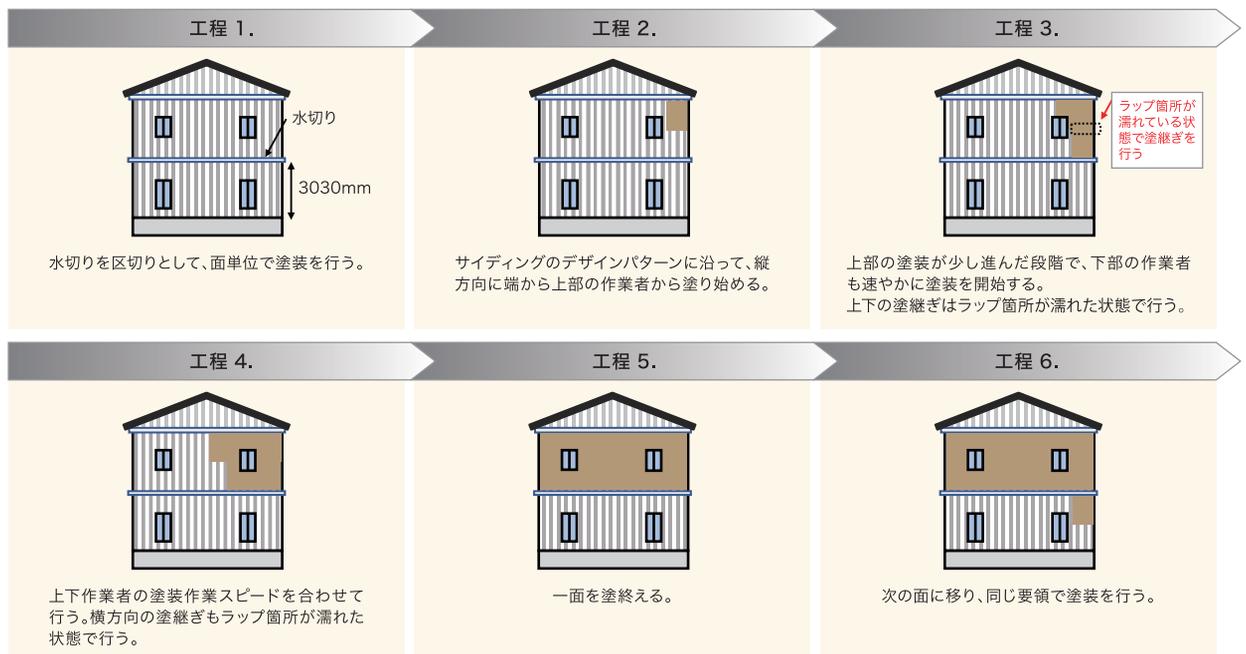
*1 下地の表面状態によって、使用量は変動する場合があります。

*2 サイディングボードが凹凸が深い形状や、エッジが尖っている形状、砂壁調の様な骨材出っ張りがある形状などのデザインの場合、または明度の高い色相を適用の際には、上塗り工程が2回必要になることがあります。あらかじめご了承ください。上塗りを2回行う場合の塗装間隔は16時間~7日(20℃)です。



MF-HOMETOP艶消塗装時の注意事項

- サイディングボードのデザインが平滑で一定間隔の区切りがない面に塗装する際は、通常のローラー塗装では仕上がりが発生するおそれがあります。塗装をスプレーで行うか、もしくは塗装を避けてください。
- スプレー塗装の際は、ローラー塗装より塗装ロスが増え使用量も増えますのでご注意ください。また、現場では入念に養生を行い、スプレーダスト飛散防止対策を徹底してください。スプレー塗装の際の希釈率は弊社指定のシンナーで5~15%としてください。
- 長尺縦張りサイディングボード面に通常のローラーで塗装する際は、下図の要領で行ってください。
- 艶消塗料の補修塗装は、以下の通り行ってください。
 - ・ 刷毛は使用しないでください。
 - ・ 補修塗装は、本塗装と同一ロットの塗料を用いて、同じ希釈率で調整してください。
 - ・ 補修塗装が必要な箇所は、サイディングボードのデザイン凹凸状態に合わせて、区切りをつけて補修塗装を行ってください。
 - ・ 補修塗装は、1回塗りで行ってください。また、本塗装と同じ毛丈のローラーを用いて、塗料を刷り込むように塗装してください。



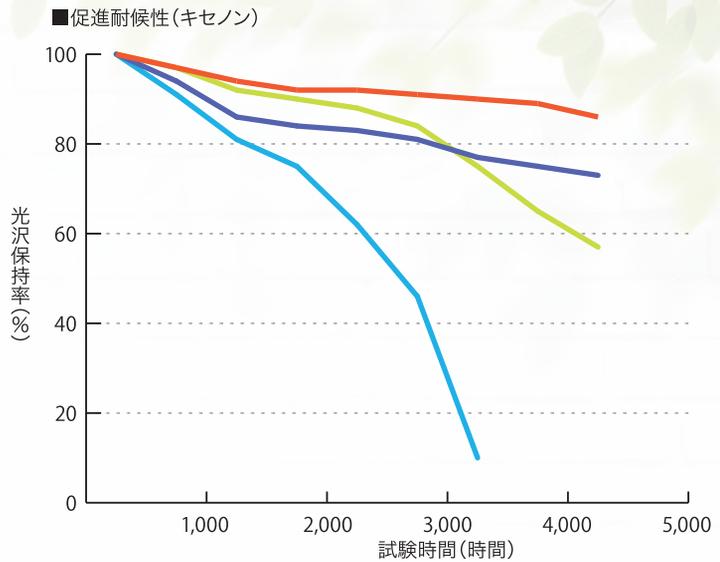
最高級グレードふっ素樹脂と
ラジカル制御技術による

高耐久・美しさの持続



光沢保持率が
優れている。
だから色あせ
しにくい!!

- MF-HOMEトップ
- 一般ふっ素樹脂塗料
- 一般水性シリコン樹脂塗料
- 一般水性ウレタン樹脂塗料

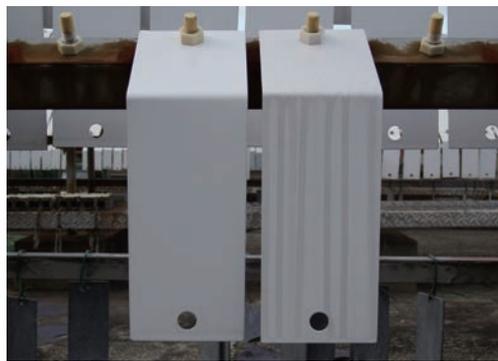


独自の低汚染化手法で **美しさの持続**

屋外での暴露試験
結果からもMF-HOME
トップ(左側)は雨垂れに
よる汚れが少なく、耐汚
染性に優れていることが
わかります。



雨垂れ促進汚染性試験



MF-HOMEトップ 市販のふっ素樹脂塗料

省工程

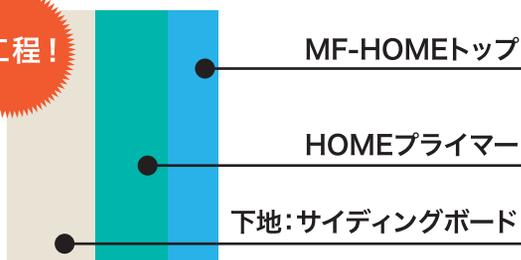
通常3回塗りの塗装工程に対し、2回塗りで仕上げることができます。

機能性を確保しつつ、省工程を実現。工程日数や廃容器が削減され、環境負荷低減に貢献できます。

一般的なシステム

工程	
1	下塗り
2	上塗り-1
3	上塗り-2

2工程!



サイディングボード面塗装時の注意事項

- サイディングボードに塗装されている塗料がふっ素樹脂塗料、無機塗料、光触媒塗料の場合および耐汚染性を付与するためにクリヤーコーティングなど特殊なコーティングが施されている場合は、塗装を避けてください。
- 高断熱型サイディングボード、光触媒サイディングボードなど、サイディングボードの種類によっては塗装を避けてください。
- サイディングボードが通気工法で施工されていることを必ず確認してください。直張り工法の場合は塗装を避けてください。
- サイディングボードのひび割れなどは、サイディングボード製造会社が推奨する補修材、工法で補修してください。
- 既存サイディングボードの劣化が著しい場合(ボードのそり、塗膜の膨れ・剥がれなど)は、湿気などの影響を強く受け塗装しても早期に不具合が発生する恐れがありますので塗装を避けてください。
- サイディングボードは高圧水洗により表面を清浄にし、十分に乾燥させてください。高圧水洗はノズルの向きを、横張りの場合は上から下向きに、縦張りの場合はあいじやくりの重ねの上の方向よりやや斜めにして洗浄してください。また、洗浄後の乾燥時間は20°Cでは最低2日間確保し、北面などの湿り具合を必ず確認してください。
- シーリング材の種類によっては可塑剤の影響で硬化不良や、塗膜の汚れや割れなどの不具合を生じるおそれがあります。
- シーリング材種類ではノンブリードタイプの1成分形ポリウレタン系が適していますが、事前に適合性の確認を行うことを推奨いたします。適合性が確認できない場合は、シーリング材が完全に硬化した後に、ブリード防止用プライマーの「アンチブリーダース」をシーリング面に先行塗りすることにより不具合発生低減を図れます。ただしシーリング材の種類によっては、不具合低減ができない場合もあります。
- ボード目地に塗料が入り込む様ローラーは中毛タイプ(毛丈13mm以上)を使用してください。また、塗装前にガムテープなどを用以ローラーの毛抜きを十分に行ってください。
- 塗料はたれにくい性状に設計していますが、サイディングボードの凹凸が深いデザインなど塗料溜まりが生じそうな場合は、たれ切りを行いながら塗装してください。有機系のさえた色相で仕上げる場合や、凹凸の著しい素地に塗装する場合は、隠上塗を2回塗装する場合、塗り重ねインターバルは16時間以上7日以内(20°C)です。インターバルを越えた場合は、よく目直しを行って塗装してください。

ご使用上の注意事項

■調合

- 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するよう心がけてください。
- 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて十分攪拌を行い、塗料缶の内容物を均一な状態にしてください。
- 混合する際は、主剤・硬化剤を所定の比率で混合し、電動攪拌機等を用いて十分にかき混ぜてください。正しい比率でない場合、硬化不良などの不具合の原因となります。
- 小分けして使用する場合は、予め塗料缶の内容物を均一になるよう攪拌してから小分けを行い、必ずはかりを用いて計量し、正しい比率で混合してください。
- 混合後は直ちに塗装してください。混合後、使用可能時間を過ぎた塗料を使用すると塗膜性能低下の可能性がありますので、規定時間内に使用してください。
- 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
- 希釈剤は弊社指定の希釈剤を使用し、希釈量は規定量内で攪拌機を用いて十分に攪拌してご使用ください。
希釈割合や使用量は塗装方法、施工方法、施工条件によって異なります。事前に試し塗をして確認してください。

■塗装

- 塗装環境条件(気温5°C以上40°C以下、相対湿度85%未満)の制限は厳守してください。低温時には乾燥遅延となり高湿度では付着不良や塗膜外観不良が生じやすくなります。
- 被塗面に結露がある場合や塗装後短時間で降雨、結露が予測される場合の塗装は避けてください。
- 被塗物の表面温度が50°C以上の場合は、塗装を避けてください。
- 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
- 弱溶剤形の塗料ですので、換気口、空気取入れ口などから揮発した溶剤が室内に入り込まない様に適切な処置をしてください。
- 塗装中、養生間、塗料取り扱い時は、溶剤や樹脂の臭気などが近隣に影響を与える場合があります。あらかじめ施主様・近隣住民への説明を行い、了承を得てください。
- 旧塗膜がアクリルラッカー系の熱可塑性を有するものが使用されている場合は膨れ、剥れなどの塗膜欠陥を発生するおそれがあります。事前に旧塗膜の種類をご確認ください。
- エマルジョンパテの使用は避けてください。不具合発生の原因となります。
- ドアまわりのパッキンやゴム、プラスチックなどの可塑剤を含むものと接触する部位への塗装は避けてください。

- シーリング材種類ではノンブリードタイプの1成分形ポリウレタン系が適していますが、事前に適合性の確認を行うことを推奨いたします。適合性が確認できない場合は、シーリング材が完全に硬化した後に、ブリード防止用プライマーの「アンチブリーダース」をシーリング面に先行塗りすることにより不具合発生低減を図れます。ただしシーリング材の種類によっては、不具合低減ができない場合もあります。
- 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
- 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
- 塗装器具の洗浄には塗料用シンナーAまたはラッカーシンナーをご使用ください。
- 最終仕上げ面は刷毛とローラーによって仕上がりが感(色相・肌感)に差が出る場合があります。補修塗装は必要最低限に留めることを推奨します。

■緊急時の対応

- 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれた場合は布でふき取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

■廃棄

使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■保管

- 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
- 容器はつり上げないでください。
- 容器は垂直に持ち上げてください。斜めに持ち上げると取手が外れ、落下事故の危険があります。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。

※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。

※ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング

神東塗料

本社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199
東北 ☎(022)353-6951 FAX(022)353-6952
東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553
静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091

北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315
名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318
大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268
中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821

四国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576
九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777

<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承願います。